

# —日本語読解力をつけるためのテキスト—

## Read Real Japanese: Advanced Japanese Reading and Writing

### テキスト 1: 芥川龍之介 『魔術』

\*作者について [蜘蛛の糸の項参照]

芥川龍之介 (1892-1927)は生後7ヶ月で母親が精神を病んだため、母親の実家で育てられる。11歳の時に母親が亡くなり、叔父(母親の兄)の養子になる。東京帝国大学(現在の東京大学)英文科に入学する。在学中に仲間と同人誌『新思潮』を発行し、作家活動を始める。大学卒業後、英語教師を経て新聞社に就職する。30歳ごろから心身が衰え始め、神経衰弱や胃潰瘍などをわずらうようになった。1927年、35歳で亡くなる。致死量の睡眠薬による服毒自殺とされている。多くの短編小説を残し、中でも(『羅生門』(1915)『鼻』(1916)『芋粥』(1916)などの歴史もの、『奉教人の死』(1918)などのキリシタンものが有名である。『蜘蛛の糸』は1918年に雑誌『赤い鳥』に掲載され、芥川が最初に手がけた児童向け文学とされている。1935年、彼の名を冠した芥川龍之介文学賞(通称 芥川賞)が設立された。

\*読む前に

1. 『魔術』ということばから、どんなことをイメージしますか。
2. あなたは『魔術』を習いたいと思いますか。なぜですか。
3. もしあなたが『魔術』を使えたら、何をしますか。
4. 人にはどんな欲がありますか。
5. 欲がある事はいいことだと思いますか。悪いことだと思いますか。どうしてそう思いますか。

## \*読みましょう(抜粋)

段落1：

「いや、かねがね <sup>ひょうばん</sup> 評 判 ほうかがっていましたが、あなたのお使いなさる魔術が、これほど不思議なものだろうとは、実際、思いもよりませんでした。ところで私のような人間にも、使って使えないことのないと言うのは、御冗談ではないのですか。」

「使えますとも。誰にでも <sup>ぞうさ</sup> 造 作 なく使えます。ただ——」と言いかけてミスラ君はじつと私の顔を眺めながら、いつになく <sup>まじめ</sup> 真面目な口調になって、

「ただ、欲のある人間には使えません。ハッサン・カンの魔術を習おうと思ったら、まず欲を捨てることです。あなたにはそれが出来ますか。」  
「出来るつもりです。」

私はこう答えましたが、何となく不安な気もしたので、すぐにまた <sup>あと</sup> 後 から言葉を添えました。  
「魔術さえ教えて頂ければ。」

それでもミスラ君は疑わしそうな眼つきを見せましたが、さすがにこの上念を押すのはぶしつけ <sup>おおよう うなず</sup> 無 躰 だとでも思ったのでしょう。やがて 大 様に 領 きながら、  
「では教えて上げましょう。が、いくら造作なく使えると言っても、習うのには暇もかかりますから、今夜は私の所へ <sup>おとま</sup> 御 泊 りなさい。」  
「どうもいろいろ恐れ入ります。」

私は魔術を教えて貰う嬉しさに、何度もミスラ君へ御礼を言いました。が、ミスラ君はそんなことに <sup>とんちやく けしき</sup> 頓 着 する 気 色 もなく、静に椅子から立上ると、

「御婆サン。御婆サン。今夜ハ御客様ガ御泊リニナルカラ、寢床ノ仕度ヲシテ  
置イテオクレ。」

私は胸を躍らしながら、葉巻の灰をはたくのも忘れて、まともに石油ランプ  
の光を浴びた、親切そうなミスラ君の顔を思わずじっと見上げました。

質問1：ミスラ君は、どんな人が魔術を使えると言っていますか。それに対して、  
『私』は何と答えていますか。

質問2：あなたなら、ミスラ君に何と答えますか。

質問3：ミスラ君の最後の会話がカタカナになっています。ここでは、カタカナ  
にすることでどんな効果がありますか。

段落2：

私がミスラ君に魔術を教わってから、一月ばかりたった<sup>のち</sup>後<sup>の</sup>ことです。これもやは  
りざあざあ雨の降る晩でしたが、私は銀座のある<sup>くらぶ</sup>倶楽部の一室で、五六人の友人と、  
<sup>だんろ</sup>暖炉の前へ陣取りながら、気軽な雑談に耽っていました。（中略）

「君は近頃魔術を使うという<sup>ひょうばん</sup>評判<sup>だ</sup>が、どうだい。今夜は一つ僕たちの前

で使って見せてくれないか。」

「好いとも。」

私は椅子の背に頭を<sup>もた</sup> 靠<sup>せた</sup>まま、さも魔術の名人らしく、<sup>おうへい</sup> 横柄<sup>に</sup>こう答

えました。

「じゃ、何でも君に一任するから、世間の<sup>てじなし</sup> 手品師<sup>など</sup>には出来そうもない、不思議な術を使って見せてくれ給え。」

友人たちは皆賛成だと見えて、てんでに椅子をすり寄せながら、促すように私の方を眺めました。そこで私は<sup>おもむろ</sup> 徐<sup>に</sup>立ち上って、

「よく見ていてくれ給えよ。僕の使う魔術には、種も<sup>しかけ</sup> 仕掛<sup>もない</sup>のだから。」

質問1： この段落では、『私』は誰と、どこにいますか。魔術は習ったのでしょうか。それはどこでわかりますか。

質問2： 『私』は今どんな気持ちになっていますか。それはどこでわかりますか。

段落3：

私はこう言いながら、両手のカフスをまくり上げて、暖炉の中に燃え<sup>さか</sup> 盛<sup>っている</sup>石炭を、<sup>むぞうさ</sup> 無造作<sup>に</sup> 掌の上へすくい上げました。私を囲んでいた友人たちは、これだけでも、もう<sup>あらぎも</sup> 荒胆<sup>ひし</sup>を挫<sup>が</sup>れたのでしょう。皆顔を見合せながらうっかり側へ寄ってやけど<sup>火傷</sup>でもしては大変だと、気味悪るそうにしりごみさえし始め

るのです。〔中略〕

「まずちょいとこんなものさ。」

私は得意の微笑を浮かべながら、静にまた元の椅子に腰を下しました。

「こりゃ皆ほんとうの金貨かい。」

あっけ  
呆 氣にとられていた友人の一人が、ようやくこう私に 尋<sup>たず</sup>ねたのは、それ

から五分ばかりたった後のことです。

「ほんとうの金貨さ。嘘だと思ったら、手にとって見給え。」（中略）

友人たちは、元より私から、あの金貨を残らず捲<sup>ま</sup>き上げるつもりで、わざわざ

かるた  
骨 牌を始めたのですから、こうなると皆あせりにあせって、ほとんど

けっそう  
血 相さえ変るかと思うほど、夢中になって勝負を争い出しました。が、い

くら友人たちが躍起となっても、私は一度も負けないばかりか、とうとうしまいには、

あの金貨とほぼ同じほどの 金<sup>きん</sup> 高<sup>だか</sup> だけ、私の方が勝ってしまったじゃ

ありませんか。するとさっきの人の悪い友人が、まるで、気違いのような勢いで、私  
の前に、札<sup>ふだ</sup>をつきつけながら、

「さあ、引き給え。僕は僕の財産をすっかり賭ける。地面も、家<sup>か</sup> 作<sup>さく</sup>も、馬も、

自働車も、一つ残らず賭けてしまう。その代り君はあの金貨のほかに、今まで

君が勝った金をことごとく賭けるのだ。さあ、引き給え。」

私はこの 利<sup>せつ</sup> 那<sup>な</sup>に欲が出ました。テエブルの上に積んである、山のような金

貨ばかりか、折角私が勝った金さえ、今度運悪く負けたが最後、皆相手の友人

に取られてしまわなければなりません。のみならずこの勝負に勝ちさえすれば、  
私は向うの全財産を一度に手へ入れることが出来るのです。こんな時に使わなければ  
どこに魔術などを教わった、苦心の<sup>かい</sup>甲斐があるのでしょうか。そう思うと私

は矢も<sup>や たて</sup>楯もたまらなくなつて、そつと魔術を使いながら、決闘でもするよう  
な勢いで、「よろしい。まず君から引き給え。」

く  
「九。」

キング  
「王様。」

質問1：皆は『私』の魔術を見て、最初はどんな反応を示しましたか。本物の

金貨だと分かったときはどんな反応を示しましたか。

質問2：なぜ友人は『気違いのような勢いで』自分の全財産を賭けようとして

いるのですか。

質問3：『私』が、『この刹那に欲が出た』のはなぜですか。

質問4：『私』は賭けに何を使おうとしていますか。なぜそれを使うのですか。

段落5：

私は勝ち誇った声を挙げながら、まっ蒼になった相手の目の前へ、引き当て

た<sup>ふだ</sup>札を出して見せました。すると不思議にもその<sup>かるた</sup>骨牌の<sup>キング</sup>王様が、まるで

魂がはいったように、<sup>かんむり</sup>冠をかぶった頭を<sup>もた</sup>擡げて、ひょいと<sup>ふだ</sup>札の外へ

体を出すと、行儀よく剣を持ったまま、にやりと気味の悪い微笑を浮べて、  
「御婆サン。御婆サン。御客様ハ御帰りニナルソウダカラ、寢床ノ仕度ハシナ

クテモ好イヨ。」

と、聞き覚えのある声で言うのです。と思うと、どういう訳か、窓の外に降

る<sup>あまあし</sup>雨脚までが、急にまたあの大森の竹藪にしぶくような、寂しいざんざ<sup>ぶ</sup>降

りの音を立て始めました。

ふと気がついてあたりを見廻すと、私はまだうす暗い石油ランプの光を浴びな

がら、まるであの<sup>かるた</sup>骨牌の<sup>キング</sup>王様のような微笑を浮べているミスラ君と、向い  
合って坐っていたのです。

私が指の間に<sup>はさ</sup>挟んだ葉巻の灰さえ、やはり落ちずにたまっている所を見ても、  
私が一月ばかりたったと思ったのは、ほんの二三分の間に見た、夢だったのに  
の秘法を習う資格のない人間だということは、私自身にもミスラ君にも、明か  
になってしまったのです。私は恥しそうに頭を下げたまま、しばらくは口もき  
けませんでした。

「私の魔術を使おうと思ったら、まず欲を捨てなければなりません。あなたは  
それだけの修業が出来ていないのです。」

ミスラ君は気の毒そうな眼つきをしながら、縁へ赤く花模様を織り出したテエ

ブル掛の上に<sup>ひじ</sup>肘をついて、静にこう私をたしなめました。

質問1： 『私』が勝ったとたん、どんなことが起こりましたか。

質問2： 『私』は、今どこに、誰といますか。

質問3： 『私』が結局どうなったか、テキストに沿って簡単に説明しなさい。

### \*読んだ後で

1. 『私』は魔術を習う資格があるとミスラ君は考えていましたか。ミスラ君はどんな人物だと思いますか。どうしてそう思いますか。
2. 『私』は始めに自分をどんな人間だと思っていましたか。結局何が明らかになりましたか。どうしてですか。

『私』は、修行したら、いつか魔術が習えるようになると思いますか。どうしてそう思いますか。

3. このお話の中で述べられている夢と現実では、時間の早さがどのように違いますか。
4. このお話のメッセージは、何ですか。
5. このお話で、場面の雰囲気がわかる箇所をそれぞれの段落の中から見つけましょう。

### \*ディスカッション トピック

1. あなたは欲のない人はいると思いますか。なぜ（またはどんな時に）人は欲を出すのでしょうか。
2. 同じ作者の作品に『蜘蛛の糸』がありますが、このストーリーと比較して、似ている点、違う点をリストしてみましょう。
3. 作者は、人間の本性をどのようにとらえていますか。性善説ですか。性悪説ですか。あなたは、どちらの立場を取りますか。それはなぜですか。
4. 世界三大宗教（キリスト教、仏教、イスラム教）のそれぞれの人間の『欲』に対する考え方を調べてまとめましょう。

## テキスト 2: 小泉八雲 「心中」 (原文英語、上田和夫訳)

### \*作者について:

小泉八雲 (1850-1904)の本名はラフカディオ・ハーン(Patrick Lafcadio Hearn)である。当時はイギリス領であったレフカダ島(1864年にギリシャに編入)で生まれる。アイルランド人の父と、ギリシャ人の母を持つ。幼少期は、父の出身地であるダブリンで過ごした。しかし、両親の離婚に伴い、4歳のときに父方の大叔母に引き取られ、厳格はカトリック文化の中で育てられた。1959年に渡米し、ジャーナリストとして活躍する。1890年に日本に行き、英語を教える。日本文化を紹介する著書を多く執筆し、また日本の地方に残る民話を妻セツからの後述でまとめた。また、『雨月物語』『今昔物語』を題材にした短編も多く書き、これらは再話文学と呼ばれている。

### \* 読む前に

1. 人はどんな理由で心中をするのでしょうか。
2. あなたは、「売春」ということばを聞いてどんなことを思い浮かべますか。
3. 作者について何かテーマを一つ決めて調べ、グループで発表しましょう  
(例: 作者の生き立ちはどのように作品に反映されていますか。日本への関心はどのようにして始まりましたか)。

### \*読みましょう (第2章より抜粋)

つい昨日のこと、一つの心中事件がこの静かな町を驚かした。灘町のある医者の下男が、夜の明けた後しばらくして、主人の息子のへやにはいってみると、若者が娘を抱いて死んでいるのを発見した。息子はすでに廃嫡されていた。娘は女郎であった。

昨夜、彼らは葬られたのだが、一緒ではなかった。父親がそうした事件のあったことを悲しむと同時に、立腹したからである。

娘の名は、かねといった。ひときわ美しく、また非常にやさしかった。そして、だれの話からも、彼女の主人はそうした日陰商売にはめずらしいほど親切に彼女を取り扱っていたらしい。彼女は、母親と幼い妹のために身を売った。父親が死んで、いっさいを失った。17のときである。女郎部屋に来て、一年のたたぬうちに、その青年と出会った。たちまち二人は激しい恋におちいった。二人の身にとって、これ以上恐るべきことはありえなかったに相違ない。とうてい夫婦になれる見込みはなかったからである。青年はまだ息子として特権はもっていたが、もっと生真面目な弟のために、すでに廃嫡されていた。不幸な二人は、逢瀬を重ねるために、持ち金をすべて使い果たした。女は代金として自分の衣装をさえ売り払った。とうとう最後に、二人は夜中おそく、ひそかに医師の家で愛、毒を飲み、永遠の眠りについたのであった。

#### \* テキストに関する質問

1. 日本では「心中」の具体的な方法がいくつかありますが、テキストではこの二人はどのように死んだのですか。
2. 「心中」をする人は、来世に何を期待しているのですか。
3. 「心中」は、仏教ではどんな考え方をしていますか。
4. 「心中」を遂げた二人が「一緒にの墓」に入ることができた場合と、そうでない場合とでは、どう違うと思いますか。
5. 女性の場合、社会的な階級と「心中」とは、どんな関係があると言っていますか。
6. 「かね」という女性の話しが例として出ていますが、「かね」はどんな境遇の女性でしたか。

7. 「かね」の「心中」の相手はどういう境遇の人ですか。
8. 「かね」とその相手はなぜ「心中」を選んだのですか。
9. 新聞記者が「かね」の手紙をうまく翻訳できないのはなぜですか。
10. 「女ことば」と「男ことば」は何が違うと言っていますか。

**\* ディスカッション／ペーパー トピック**

1. あなたは「かね」の選択をどう思いますか。あなたが「かね」（もしくはその相手）ならどうしますか。時代背景や境遇を考えながら意見を述べなさい。
2. 著者は「かね」の事件をどのようにみていますか。それはテキストのどのところでわかりますか。
3. あなたの国の文化では、「心中」はどのように考えられていますか。それはなぜですか。

## テキスト 3:

### 島田洋七：『佐賀のがばいばあちゃん』第一章・二章

#### \*作者について：

島田洋七（1950- ）は1950年に広島市で生まれる。日本の漫才師、タレント。本名は徳永昭彦。2015年現在、漫才トリオの初代B&Bの一人として活躍した。

生い立ち：父親は2才の時に原爆症でなくなる。6才から8年間祖母のいる佐賀に預けられ、祖母の影響を受ける。このころの生活を『佐賀のがばいばあちゃん』として2002年に出版、反響を呼ぶ。高校時代は野球に没頭。1970年、東京に出て落語に接し、芸人になることを決意する。1972年、初代のB&Bを結成し、漫才師としてデビューを果たす。その後は都内にお好み焼きレストランを何軒も持ったり、参議院議員に立候補したり、独立して個人の芸能事務所を設立したり（後に解散）、とさまざまな活動を経て、現在も活躍中である。『佐賀のがばいばあちゃん』は映画、演劇にもなり、多くの読者を掴んでいる。

#### \*読む前に

1. 都会と田舎では、子どもの生活や家族関係はどのように違いますか。
2. 子どもにとって、祖父母はどんな役割を果たしていますか。
3. 作者について、どんな人物か、どこがユニークなのか調べましょう。

#### \*読みましょう（徳間文庫より一部のみ抜粋）

## 第一章：

昭和20年8月6日。広島に世界初の爆弾が投下された。あるいは、事の起こりはこの一発の原爆だったのかも知れない。なぜなら、原爆さえ落とされなければ、俺のとうちゃんが若くして死ぬことはなかったのだから。

俺のとうちゃんとかあちゃんは、結婚して広島に住んでいたが、戦争が激しくなったころ、かあちゃんの実家である佐賀に疎開した。だから、本当に幸いなことに原爆に合わないで済んだ。

けれども、すごい新型爆弾が広島に落とされたという話は、当然、佐賀にも伝わってくる。それでとうちゃんは家が心配で、一週間後、ひとり広島へ様子を見に帰ったのだ。「みんなどこへ行ったんや？」破壊された広島町を見て、とうちゃんはこんなまぬけは言葉を吐いてしまったという。そのくらい、とうちゃんが見た広島には、何もなかったのだろう。みんな壊されてしまい、みんな死んでしまったのだった。そして、とうちゃんもこの広島行きが原因で命を落とすことになる。(以下本文略)。

### \*テキストに関する質問

(第一章)

1. 主人公が父親について知っていることを述べなさい。
2. 主人公の母親はどうやって家族の生活を支えていましたか。
3. 母親と暮らしていた当時、主人公は幸せでしたか。テキストの中から当時の気持ちがよく表れている箇所をさがしなさい。
4. 母親はどんな方法を使って主人公を佐賀に行かせましたか。

5. 主人公の母親は、どんな気持ちで主人公を佐賀に行かせたのでしょうか。そして主人公はどんな気持ちで佐賀にむかったのでしょうか。両者の気持ちがよく表れている箇所はどこですか。

(第二章)

6. 祖母のいる佐賀の風景や家をどのように描写していますか。

7. 主人公がまず最初に与えられた仕事はなんでしたか。2つ述べなさい。

8. 祖母はどんな性格ですか。テキストの中から例をあげて述べなさい。

9. 彼女は節約のためにどんな工夫をしていますか。

II. 次の引用文は、だれのことばで、どんな場面で言われましたか。それはどんな状況を表していますか、またはその人のどんな気持ちを表わしていますか。

(第一章)

1. みんなどこへ行ったんや？

2. 泣いたらだめよ。

3. かあちゃん、背中押したりするから。

4. 大丈夫、おばちゃん。僕、次の駅で降りるから。心配しなくてもいいよ。

(第二章)

5. ここ、何？
6. かあちゃん、見てみて！
7. ただ歩いたらもったいなかとよ。
8. 2, 3日待ちなさい。もう片方も流れてくるよ。

**\*ディスカッション・ペーパー トピック**

1. 主人公が祖母と母親から得たものは何でしょうか。また、この二人は主人公の人格形成にどんな影響を与えていますか。
2. このストーリーの時代と今の子どもたちの生活はどう違いますか。何がそのような違いをもたらしたと思いますか。今の子どもたちの方が幸せだと思いますか。
3. あなたは今の子どもたちに何を期待しますか。そのためには、親としてどんな責任がありますか。
4. この二つの章では、原爆の恐ろしさ、非人間性についても書かれています。それがわかる箇所はテキストのどこですか。
5. 長崎、広島の前爆投下について、なにかテーマを決めて調べましょう。また、わかったことをグループで話し合いなさい。

## テキスト 4:

**森鷗外 『高瀬舟』** (注: この作品は文語体で書かれているため、継承語話者、上級日本語学習者向け。一部抜粋を現代文にして読ませ、残りを翻訳で、またアニメや映画をその後に見せるのもよい)

### 作者について:

**森鷗外 (1862-1922)**

森鷗外 (本名、森林太郎) は文久 2 年 (1862 年) に石見国津和野町 (現在の島根県)、代々御典医を勤める森家の長男として生まれる。7 歳のころから漢文を学び、10 歳で東京に転居してからドイツ語を学んだ。第一大学区医学校 (現東京大学医学部) を最年少の 19 歳で卒業した後、陸軍に入り、東京陸軍病院の軍医となる。1884 年から 1888 年まで細菌学の研究のためドイツに留学。ドイツではドイツ文学に親しみ、ゲーテの「ファウスト」「即興詩人」などを翻訳した。帰国後は軍医として活躍するかたわら、亡くなるまで執筆活動を精力的に行った。主な作品には『舞姫』、『山椒大夫』、『雁』などがある。批評文を文学として認められるようになったのは、彼が先駆者と言ってもよい。

### \*読む前に

1. 自分と相手との文化が異なることは、結婚の障害になると思いますか。どうしてでしょうか。
2. 妊娠させた恋愛相手を捨てるのは、悪いことだと思いますか。どうしてですか。
3. 『家族のかたち』がだんだん多様化してきています。これについてどう思いますか。

### \*テキストに関する質問

1. 太田豊太郎とエリスは、どのような家庭に育ち、どのような教育を受けましたか。

2. 豊太郎がドイツに行った目的は、何ですか。
3. エリスとの出会いで、豊太郎は、どう変わりましたか。エリスには、変化がありましたか。
4. 豊太郎には、どのような心理的な葛藤(conflict)がありましたか。
5. 豊太郎の日本帰国には、二人にとって、どのような意味がありますか。メリットとデメリットをできるだけリストしなさい。
6. この悲劇 (tragedy) の原因はどこにあると思いますか。

#### **\*ディスカッション トピック**

1. このストーリーのどんなところに、「日本的な」ものの考え方は、表れていると思いますか。
2. このストーリーには、ほかのアジアの国の考え方と似ている点はないか、話し合ってみましょう。
3. このストーリーには、文化の差異を越えた普遍的なメッセージがあると思いますか。あるとしたら、どんな点ですか。

#### **\*ディベート トピック**

豊太郎がエリスを日本に連れて帰らなかったことに、賛成しますか。反対しますか。2つのグループに分かれて、ディベートをしましょう。

#### **\*ペーパー トピック**

1. 文学作品には、その時代の価値観が表れているという意見がありますが、あなたは、賛成ですか。この作品には、明治時代の価値観がどのように表われているのか分析しながら、テキストの例をあげて、あなたの考えを原稿用紙3～4ページにまとめましょう。

2. 恋愛と結婚は別だという考えに賛成しますか。この作品の例をあげながら、あなたの考えを原稿用紙3～4ページにまとめましょう。

## テキスト 5:

### 村上春樹：『風のうたを聴け』第一章

#### \*作者について:

生い立ち：村上春樹は1949年に京都市で生まれた。両親はともに国語の教師。1968年に早稲田大学を卒業し、ジャズ喫茶を開いた。1978年、喫茶店を経営する傍ら小説を書き始めた。『風の歌を聴け』は1979年に群像新人賞を受賞した。1981年から専業作家となり、次々に作品を送り出した。彼の作品は芥川賞、読売文学賞、谷崎潤一郎賞といった国内の賞に候補、受賞するだけでなく、国外の賞も受賞しており、国内外で一番名前の知られた作家の一人と言える。また、現在『ノーベル文学賞に一番ちかい日本人作家』と言われている。主な作品は『海辺のカフカ』『ノルウェイの森』『1Q84』などがある。彼はまたアメリカ文学を翻訳家としても活躍している。

#### \*読む前に

1. 友情と恋愛はどう違いますか。
2. 「青春」ということばから、どんなことを思い浮かべますか。
3. 村上春樹について、テーマを決めて調べましょう(例：彼の作品の特徴はなんですか。生い立ちを読み、彼の作品に影響を及ぼしているものが何か考えましょう)

#### \*テキストに関する質問 (第一章を読んで):

1. 「デレク・ハートフィールド」はどんな作家ですか。分かったことを箇条書きにしてください。

2. 「鼠」はどんな環境で育ちましたか。
3. 「僕」と「鼠」はどのようにして友達になりましたか。
4. 「僕」は少年の頃、どんな子どもでしたか。今はどうですか。
5. 「僕」が「指のない女の子」とどのようにして出会いましたか。
6. 「僕」の、過去の3人のガールフレンドとの出会いと分かれのいきさつについて、それぞれ簡単に述べなさい。
7. 次の4人の登場人物のその後をそれぞれ簡単に述べなさい。  
「僕」、「鼠」、「指のない女の子」、「ジェイズバーの主人」
8. この時代をよくあらわしている箇所をテキストから3つ選びなさい。

**\*ディスカッション・ペーパートピック**

1. 「デレク・ハートフィールド」は、このストーリーの展開にどんな役割を果たしていますか。
2. 「僕」と「指のない女の子」はどんな関係ですか。

3. 時々挿入されるラジオ番組の放送は、このストーリーの中でどんな役割を果たしていますか。

4. 全編に流れている「僕」の感情や感じ方には、あなたとどんな共通点、もしくは相違点がありますか。

5. このストーリーには、登場人物たちの話すジョークや比喩がたくさんちりばめられています。印象に残ったものを2つあげなさい。それはどんな場面でどのように使われましたか。

6. このストーリーには、文化の差異を越えたどんなメッセージがあると思いますか。